

キララだより

【学校目標】「ゆたかさ たしかさ たくましさ」

発行：竜東中学校

第11回ふるさと竜東の集い（報告）

テーマ：地域を知り、SDG'sの視点で竜東の色をつくり出そう

11月1日（火）に第11回ふるさと竜東の集いが開催されました。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、校区小学校6年生、中学生、保護者、校区コミュニティスクール委員、学校運営協議会委員、教職員と参加者を限定して開催をし、約140名の皆さんのが参加し、ふるさと竜東について意見交換をしました。

◎11月1日の様子



全校合唱「ヒカリ」



中学生の発表

上久堅地域おこし協力隊
地主健一さんの発表

オープニングでは、文化祭で歌った中学生全員による全校合唱「ヒカリ」の発表がありました。続いて行われた全体会では、最初に中学生の発表がありました。中学生からは、昨年度のテーマに関わった取り組みの振り返りをし、分科会につながる3つの提案がされました。

提案1：地域の人たちと協力して新しい竜東の魅力を作ろう

提案2：SNSを利用して竜東の良さを世界に発信しよう

提案3：リニア駅とつなげた交通網の整備をして人の行き来を盛んにしよう

続いて、地域の代表として上久堅地域おこし協力隊の地主健一さんが「上久堅の移住対策～暮らしが選べる場所を選ぶ～」という演題で、地域おこしとして取り組んでいる空き家対策、移住の促進、上久堅の魅力（ふるさとの良さ）、都会と田舎のそれぞれの良さについて体験や経験をもとに話をいただきました。

全体会後には、16の分科会に分かれ、6つのテーマから1つのテーマを選び、そのテーマに関わる地域の良さ、地域の課題、継続できること（自分で、学校で、地域で）について中学3年生が司会を務め、意見交換を行いました。30分という短い時間だったので、十分に意見交換できなかったグループもあったようですが、児童生徒と保護者、地域、学校の4者が地域のことについて意見を交わし合うことのよさや地域の新たな魅力の発見につながる分科会となりました。



分科会の様子

◎分科会のまとめ

テーマ：竜東地区の交通環境

よさ	課題	できること
・交通量が少ないので交通事故が発生しにくい	・通学路に倒れそうな木、竹や滑りそうな落ち葉が多い。 ・道が狭い	【自分たち・学校】 ・落ち葉や砂利を掃いてきれいにする。 【地域】 ・通学路の整備（街灯の設置、カーブミラーの設置や交換）
・三遠南信道ができ、周りの道路が少し整備された。そのため、昨年よりも人が入ってきているように思う。		

テーマ：竜東地区の働く環境

よさ	課題	できること
・自然を活かした農業に関わる仕事がある ・に三遠南信道よって通勤しやすい ・静かなのでリモートワークに適している	・働ける企業が少ない ・農家が年々減少し、跡取りがいない ・冬は通勤が大変 ・通勤手段が少ない	【自分たち・学校】 ・竜東に適した仕事について調べる 【地域】 ・空き家を利用しリモートワーク施設 ・ネットを活用し、他県にアピール

テーマ：竜東地区の自然

よさ	課題	できること
・緑が豊か ・空気がおいしい ・星がきれい ・水がきれいでおいしい ・様々な体験ができる ・食べ物がおいしい	・森林整備が追い付いていない→人手不足 ・ゴミが落ちている ・坂が多い ・自然災害につながりそうな場所 ・道が狭い・自然を活かしきれていない	【自分たち・学校】 ・ゴミ拾い ・木の葉や花でアロマオイルや香水作り 【地域】 ・民泊 ・草刈り ・ゴミ拾いを楽しめるようなイベント ・アクティビティ施設 ・ツアーエクスペリエンス

テーマ：住みやすい竜東地区

よさ	課題	できること
◎人間関係 ・地域の人人が優しく、困った時に助け合える ・仲が良く、話しかけやすい ・礼儀正しい ◎自然 ・自然が豊か ・夜が静か ・隣の家と距離があり大声を出せる ・空気がきれい ・景色がきれい ・地産地消ができる ・特産物がある ◎交通 ・交通量が少ない→事故が少ない ・車が横断を待ってくれる。横断の後のお礼 ・三遠南信道ができアクセスが良くなった。	・商業施設が少ない。そこまでが遠い ・ポイ捨てが多い ・交通整備が整っていない ・街灯が少ない。 ・自然災害が多い(倒木、土砂崩れ)	【自分たち・学校】 ・ゴミ拾い、ゴミに関するポスター作成 ・ネットを使って竜東地区をPR ・マスコットキャラを考える ・挨拶 ・交流をする 【地域】 ・避難訓練を行う ・地区の行事(お祭り)を作る ・自然を残しつつ、商業施設を作る ・田舎暮らし、地区の良さをネット発信 【その他】 ・人の繋がりをよくして、仲良くする

テーマ：竜東地区的イベント

よさ	課題	できること
・地域の人人が優しく温かい ・学校の花壇だけではなく、地区花壇にも力を入れ、地域の人たちと協力できる ・よこね田んぼ、千代幻豚、千代ネギ、小野子人参など特産物が多い ・保育園から大学生、高齢者までたくさんの人たちがイベントや行事に参加 ・地域の人たちが仲良くなる交流の場	・竜東地区的イベントや季節の見所などのPRが少ない。 ・どのようなイベントがいつ、どこで行われているかわからない ・子どもが少なくなり、子どもの参加が少ない ・よそ者を入れたくない風潮 ・イベント後のゴミが多い	【自分たち・学校】 ・4地区で情報を周知し、友だちなどを誘って人数を増やす。 ・イベントへの中学生のボランティア参加 【地域】 ・地域の自然を活かしたイベントを作る 【その他】 ・ゆるキャラを作る ・PR方法を増やす

テーマ：竜東地区的交通環境

よさ	課題	できること
・自然が多い ・移住者のニーズに合う ・人と人のつながりがよい ・歴史的な場所が多い。	・イベントが少ない ・交通アクセスがない ・観光名所の宣伝、看板がない ・コンビニや飲食店がない	【自分たち・学校】 ・SNSでPRする ・ゴミ拾い ・交通環境の報告 【地域】 ・配信してもらう ・イベントを開く ・食の充実 【その他】 ・道路整備(環境) ・アウトドアの普及

◎中学生が参加しての学校運営協議会(12月21日)

12月21日に開催した第2回学校運営協議会に中学生の代表生徒6名が参加し、テーマごとに分科会のまとめを報告しました。報告後、3つのグループに分かれて、できうこと、期待すること、来年度に向けて話し合いを行いました。

学校でできそう、期待すること	地域でできそう、期待すること	来年度のふるさと竜東の集い
・イベントへの中学生の参加(企画、運営の手伝い) ・中学生からの提案を活かす ・フランクの工夫 ・HPに中学生のコーナー ・SNSで発信(中学生目線で) ・似たような地域の良い事例を調べる ・ゆるキャラの募集	・街灯の設置申請(なかなか通らないが) ・3地域で効果のあった事例の情報共有 ・地区のHPで情報発信 ・ゆるキャラ(かかしコンテストと連携) ・倒れそうな木の伐採 ・特産物のアピール ・森林の利用 ・移住者との連携 ・話し合いの場の設定	・内容のマンネリ化を考える ・前年度の繋がりを持った会にする(振り返り、実践) ・移住者の話を聞く ・ゆるキャラの募集または発表

初めて中学生に学校運営協議会に参加してもらい、委員の皆さんと分科会の報告をもとに、話し合いを持てたことで、学校の思い、地域の思いを直接共有することができ、大変有意義な会となりました。それぞれの立場で今後は行動に移し、来年度の第12回につなげていきたいと考えています。



中学生と学運協との懇談